

自治・自由・創造

第27代校長 辻井 嘉介

創立80周年、おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。私は平成30年4月からの2年間でしたが、県立芦屋高等学校の発展のために微力ではありますが関わらせていただけたことに、誇りと喜びを感じています。

平成30年は兵庫県政150周年に当たる年で、本校は11月17日に「防災」をテーマに書道部・ボランティア部など芦高生が自らの手で次の世代に繋げていこうという思いを込めて県政150周年記念事業を実施しました。

平成31年4月で「平成」が終わり、5月からは新元号「令和」の新しい時代が幕を開けました。日本で開催されたラグビー・ワールドカップで日本チームが初のベスト8入りを果たし、私たちに感動を与えてくれました。本校ラグビー部も単独チームで県ベスト4に入りました。書道部は『書の甲子園』において、2年連続の近畿地区優勝を飾りました。数理科学部は『数学・理科甲子園』において、3位入賞の偉業を達成しました。

外国人生徒にかかわる特別枠選抜が本格実施となり、グローバル化に対応する取組も一層進んでいます。台湾への修学旅行では、姉妹校提携を結ぶ台湾の三重高級中学とのコラボ化を図った交流を展開し、オーストラリアへの語学研修では、ブリスベンやパースの現地校の先生方から芦高生を絶賛していただきました。

令和2年に入って、WHOが新型コロナウイルス感染症を「パンデミック」だと表明し、本校の卒業式は途中で換気する時間を設定して挙行了しました。そして3月からは県立高校が一斉休校となる事態となりました。

県立芦屋高等学校にとってこの創立80周年が、今後の100周年に向けての更なる飛躍を目指す新たなスタートとなることを確信し強く期待しています。